

TOHMA 社協だより



(社協HP QRコード)

第151号
令和8年新春号



共同募金へのご協力ありがとうございました



当麻柏陽園



ケアハウス柏寿園



グループホーム寿楽

社協の事業は、みなさんの「会費、賛助会費、法人会費、寄付金など」によって支えられています。

社会福祉法人 当麻町社会福祉協議会

〒078-1314 当麻町4条東2丁目16-3 農村環境改善センター1階 TEL.0166-84-5711 FAX.0166-84-3213



新年のごあいさつ

社会福祉法人 当麻町社会福祉協議会会

會長遠藤憲彦

当麻町社会福祉協議会役員 社会福祉法人

新年あけましておめでとうございます

町民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます

が開催され、158の国と地域が参加し、184日間の開催期間中には2,500万人を超える来場者があつたそうです。町民の中にも、大阪・関西万博へ行き、楽しんできた方もおられるかと思いますが、ようやくコロナ前の「日常が戻ってきた」と感じる事が出来たイベントがありました。

連携を密にし、町全体を視野に入れた地域福祉の推進地域における「新たな支え合い」の創出に努め、高齢者のみならず、子どもや障がいのある方々などあらゆる住民が意欲と自らの能力に応じて役割をもち、相互に支え合いながら地域、暮らし、生きがいを共に築き上げていく「地域共生社会」の実現が重要となります。当社協としましても、より一層の取り組みを進めて参りたいと思います。

本年も町内における地域福祉の充実、発展のため、そして本会の円滑な運営に努め、多様化・複雑化する福祉課題に向き合い、町民の皆様のご協力をいただきながら事業を進めて参りたいと思いますので、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

その一方で、日用品や食品、中でもお米が以前の倍以上に高騰するなど、人々の生活に直結する物価高騰の波が続いております。町民の皆様はもちろん、困窮世帯などは特に日々の生活に苦慮されている事と思いますので、国が打ち出している物価高騰対策支援の早急な実施が望まれるところであります。

当町の福祉におきましては、団塊の世代が75歳を迎える「2025年問題」と呼ばれる超高齢化社会と向き合っていく事となります。そのためには「行政」との

最後になりますが、本年も「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくり」に役職員一同取り組んで参りますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして、この一年が幸多き年になりますよう心からご祈念申し上げまして、新年のあいさつといったします。

監 事 ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	理 事 ク	副 會 長 ク	會 長 ク
小 角 谷 善 林 谷 善 則	鍛 治 和 幸 中 島 よ し 子	安 藤 裕 子	高 谷 博 之	今 橋 祐 美	田 中 和 久	澤 田 和 久	安 田 秀 敏	西 川 典 子	菅 田 信 博	遠 藤 憲 彦

災害ボランティアセンター設置・運営等に関する協定を締結

当麻町社会福祉協議会と当麻町は、12月4日（木）当麻町役場町長室にて「当麻町災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」を結びました。

本協定書は、災害時における災害ボランティアセンターの業務内容やセンターの設置場所、資器材等の確保、平時からの取り組みなど様々な内容について明記したもので、災害時における町民の生活を守るために備えとして、新たな一歩となりました。今後も、町行政だけでなく様々な関係機関とも連携を強化し、防災に対する取り組みを進めて参りたいと思います。



赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動への ご支援・ご協力ありがとうございました！

赤い羽根共同募金

1,177,939円



歳末たすけあい運動

390,200円

(12月4日現在)

今年度、町民の皆様からお預かりしました赤い羽根共同募金は、一度北海道共同募金会へ集約された後、翌年度に約3割が全道域を対象とした様々な福祉活動や災害支援として、約7割が当麻町で実施される地域福祉活動の財源として活用されます。

また、歳末たすけあい義援金は町内におられる低所得世帯（一人暮らしの高齢者世帯、ひとり親世帯等）18世帯へ歳末見舞金として12月末にお届けいたします。

物価高騰が続く社会情勢の中、町民の皆様からの温かいご支援・ご協力を頂き、ありがとうございました。

● ました。

ふれあい 思いやり あふれる
まちづくりをめざして

ふれあいサロン開催日カレンダー

令和7年 12月						
日	月	火	水	木	金	土
	(1)	2	(3)	4	(5)	6
7	(8)	9	(10)	11	(12)	13
14	(15)	16	(17)	18	(19)	20
21	(22)	23	(24)	25	(26)	27
28	(29)	30	31			

ふれあいサロン開催のお知らせ

○開設回数→月2回（第2・第4水曜日）

○開設時間→午前10時～午後3時まで

○内 容→マージャン・ボッチャ・おしゃべりなど

○開設場所→改善センター1階「第3研修室」



※その他、週に3日（月・水・金）農村環境改善センター1階「第3研修室」を開放しておりますので、自由にご利用下さい。

令和8年 1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	
4	5	6	(7)	8	(9)	10
11	12	13	(14)	15	(16)	17
18	(19)	20	(21)	22	(23)	24
25	(26)	27	(28)	29	(30)	31

2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	(2)	3	(4)	5	(6)	7
8	(9)	10	11	12	(13)	14
15	(16)	17	(18)	19	(20)	21
22	23	24	(25)	26	(27)	28

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	(2)	3	(4)	5	(6)	7
8	9	10	(11)	12	(13)	14
15	(16)	17	(18)	19	20	21
22	(23)	24	(25)	26	(27)	28
29	(30)	31				

●印はサロン開設日です。○印はサロン開放日です。自由にご利用下さい。開放時間：午前10時～午後3時

老人クラブ連合会

日帰り会員研修

当麻町老人クラブ連合会では10月7日（火）に日帰りの会員研修を行い、50名の会員が参加しました。当日は増毛町にある「マルゼン佐藤果樹園」で果物狩りを行い、ブドウやブルーンなど季節の果物を堪能しました。昼食では「寿司のまつくり」にて増毛町の誇る新鮮な魚介類を使った刺身定食を食べ、食後には近くの國稀酒造を見学。終始笑い声の絶えない楽しい時間を、たくさんの仲間とともに心ゆくまで満喫しました。



第52回全町老人の集い

当麻町老人クラブ連合会が主催する「第52回全町老人の集い」を10月23日（木）にまとまるにて開催し、55名の参加者が一堂に会しました。

第1部では、町の検診や他の医療機関を受診し、要医療及び医療継続の指示を受けなかった80歳以上の方へ贈られる優良健康老人表彰に大澤 榮一様（緑友会）が選ばれ、壇上にて表彰状の授与が行われました。また、第2部では辻村音楽事務所の辻村 達生氏を講師にお迎えし、「悩まなくていいことは悩まない」と題して、懐かしい昭和の名曲をギターの生演奏と素晴らしい歌声で披露していただき、一緒に歌を歌いながらノスタルジックな雰囲気を十二分に堪能いたしました。

最後には10月16日より実証運行スタートとなったデマンド交通「のるーと当麻」について当麻町役場まちづくり推進課担当者の方より説明があり、参加者の方も興味深く聞いていました。



1円玉募金・リングプル・タオル1本運動

11月28日（金）に高谷博之連合会長より、各単位クラブで1年間取り組んできた1円玉募金22,785円とリングプル約8kgを「当麻町の福祉に役立てて下さい」と、今年度も社会福祉協議会に寄付して頂きました。



また、「タオル1本運動」についても、会員の皆様のご協力により81本のタオルが集まり、同日に町内の福祉施設や保育所など4事業所へ「毎日の介護・保育事業に役立てて下さい」とお届けしております。



当麻町ボランティアの会 かたるべの森との交流会

当麻町ボランティアの会では11月21日（金）に、かたるべの森との交流会を実施しました。当日はかたるべの森利用者・スタッフ合わせて75名を迎え、ボランティアの会員19名と共に会自慢のカレーライスを食べ、交流を深めました。

また会場には利用者の方々が制作した作品が展示され、華やかな雰囲気の中で食事を楽しみました。



障がい者福祉の集い

12月3日から9日までの「障害者週間」に合わせて、12月3日（水）に農村環境改善センターにて「第28回障がい者福祉の集い」を開催しました。

今年度はかみかわ生活あんしんセンター センター長 金子 真人氏を講師に迎え、「生活困窮者自立支援制度と障がい者支援～障がいってなんだろう～？」というテーマのもと講話を頂きました。

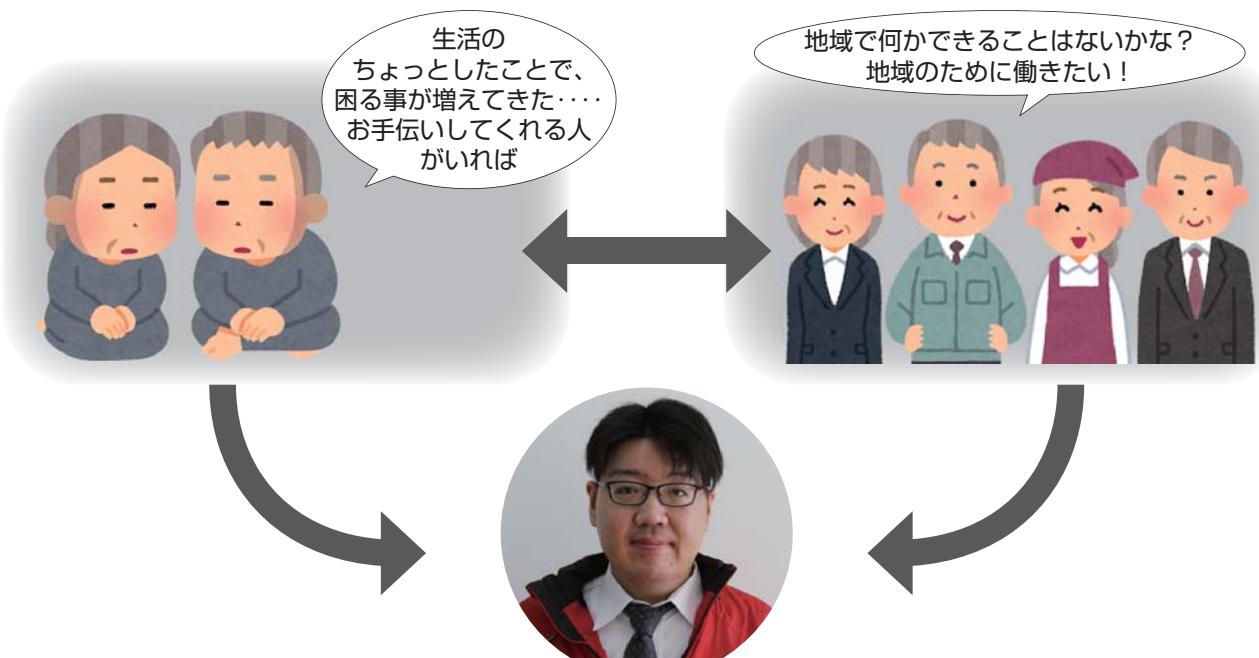
講話では、生活困窮者自立支援法が定める生活困窮者の定義や、困窮者支援では対象者自身が自ら助けを求めることが難しい一面があるためアウトリーチが重要であること、また実際にあった3つの事例を通して「障がいをもっているからできない」「病気だからできない」と決めつけるのではなく、先ず出来ることは何か考え一緒に「やってみる」ことが大切であると話されていました。

また、講演終了後には町内の4つの障がい福祉事業所の活動紹介や、展示ブースを設置し当町の障がい者福祉について理解を深めました。



生活支援体制整備事業

地域の支え合い活動を 生活支援コーディネーターがお手伝いします！



生活支援コーディネーター 安住 悟

- 高齢者世帯へ安否確認のための訪問活動をしております。生活上のお悩みやちょっとした困り事等ありましたら、お気軽にご相談ください。
- また、皆さまから寄せられた声を元に「住み慣れた地域で、安心して生活していくための当麻町らしい仕組みづくり（新たなサービスの創出・地域に沿った助け合い等）」を目指して参ります。
- 現在皆さまが参加されている地域での活動や集まりなどがありましたら、ぜひ教えてください！また「自分にも何かできる事があるはず！」と意欲のある方のお声かけもお待ちしております。

連絡先・問い合わせ 当麻町社会福祉協議会 ☎ 0166-84-5711

令和8年版 カレンダーリサイクル市開催！

各ご家庭や事業所から集まつた令和8年版未使用のカレンダー、スケジュール帳等のリサイクル市を下記の日程で開催します。町民の皆様のお越しをお待ちしております！

日時・場所 令和8年1月18日（日）午後1時～3時まで

農村環境改善センター ロビー

※引き続き1月19日（月）午後1時～午後3時まで第3会議室にて販売を行います。

※無くなり次第、終了いたします。

販売価格 100円～（品物のサイズにより金額は変わります）

※収益は全て「赤い羽根共同募金」へ募金させて頂き、地域福祉活動推進のための貴重な財源として活用させていただきます。



◎なお、令和8年版未使用のカレンダー、スケジュール帳の収集・受入れは令和8年1月9日（金）まで行っておりますので、当社協まで直接ご持参ください。皆様のご協力をお願いします。

当麻町社会福祉協議会

〒078-1314 当麻町4条東2丁目16番3号（農村環境改善センター内） ☎ 0166-84-5711

心配ごと相談のお知らせ

当会では毎月1回心配ごと相談所を開設しています。生活上の悩みごとや困りごとを一人で抱え込みます、まずは相談してみてください。

相談された内容は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

なお、開設日以外でも相談に応じますので、事務局までご連絡ください。

月日	曜日	相談員	（敬称略）
令和7年12月25日	木	安藤 よしひこ	御池 日出雄
令和8年1月26日	月	菅 克則	御池 日出雄
令和8年2月25日	水	橋本 正実	安藤 よしひこ
令和8年3月25日	水	御池 日出雄	菅 克則

※相談員は都合により変更となる場合がございますので、予めご了承下さい。

※2月25日には、心配ごと相談と併せて「無料法律相談」を開設する予定であります。予約受付の開始は、当麻町公式LINEや有線告知放送、社協ホームページでお知らせいたします。

時間 午後1時～4時まで

場所 改善センター第2会議室

事務局 当麻町社会福祉協議会 TEL: 84-5711

心配ごと相談員学習会

11月25日に心配ごと相談員の資質向上を目的とした学習会を行いました。

今年度は旭川地方法務局遺言書保管官・供託係長 鈴木 一市氏をお迎えして「相続・遺言書について」と題し、相続や遺言の基本的な知識や自筆証書遺言書保管制度についてお話を頂きました。

今後もこういった学習会を行なながら、町民の皆様のお悩みごとを少しでも解決へと導いていけるよう、研さんを深めてまいりたいと思います。



リングブルがたくさん集まりました！

当社協では、「当麻町役場庁舎入口」「農村環境改善センターロビー」の2カ所に、リングブルの収集ボックスを設置しております。町民の皆様には、日頃よりたくさんのリングブルをご提供いただき誠にありがとうございます。

集まりましたリングブルは、車いす等の福祉用具と交換し町民の方へ無償で貸し出し（「福祉用具貸与事業」）などに活用させて頂いております。詳細につきましては、社協ホームページをご覧頂くか、当社協（84-5711）まで直接お問い合わせください。

収集状況報告

社協にて保管している数量（R7.11月末時点）	約81kg
回収業者にて保管されている数量	約465kg
合計	約546kg



参考：750kgで車いす1台と交換可能

社協会費（普通会費、賛助会費、法人会費） ご協力ありがとうございました！

各行政区を通して1世帯500円で納入頂いている「普通会費」及び、福祉事業推進にご賛同頂いている「賛助会費」、また町内の企業・商店の方々にご協力頂いている法人会費について、納入頂きありがとうございました！社協の事業は皆様のお力添えによって支えられております。今後ともご協力よろしくお願いいたします。



この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。